

ブロイラーの給温期における温度と期間に関する試験

千綿政信・溝口善紀・島松亀久雄・原祐義・今泉茂樹 (佐賀県畜産試験場)

Masanobu CHIWATA, Yoshiki MIZOGUCHI, Kikuo SHIMAMATU, Sukeyoshi HARA, Shigeki IMAIZUMI :
Studies on Heating Temperatures and Terms in Rearing of Broiler

ウインドウレス鶏舎での省エネルギーを図る目的で、ブロイラーの給温期における給温温度の低温化、給温期間の短縮がブロイラーの生産性に及ぼす影響について検討したのでその概要を報告する。

1. 試験方法

- 1) 供試鶏：アーバーエーカー。
- 2) 試験期間：1986年 1 月～3 月の63日間。
- 3) 試験区分：第 1 表のとおり。

第 1 表 試験区分

区分	試験羽数	日 齢 温 度								
		0	4	8	12	16	18	21	24	
試験 1 区	320羽 (160×2)	33	32	25	20	20	自温室			
" 2 区	"	30	27	24	20	自温室				
" 3 区	"	27	24	23	20	自温室				
対 照 区	"	33	32	25	22	20	20	自温室		

2. 結果および考察

1) 育成率 (第 2 表) 各区分に有意な差は認められなく、おおむね良好であった。

第 2 表 育成率 (単位:g)

区分	日 齢	0～21	22～42	43～56	57～63
試験 1 区		100.0	99.4	97.5	96.9
" 2 区		100.0	99.1	98.1	97.5
" 3 区		100.0	99.7	98.4	96.6
対 照 区		100.0	98.7	96.6	96.3

2) 増体量 (第 3 表) 0～21日齢では、対照区が最も良く、22～42日齢では各区分差はなく、以降は試験 1～3 区が増体量が多く、0～63日齢の増体量に有意差は認められなかったが、試験区の方が良好であった。

第 3 表 増体量 (単位:g)

区分	日 齢	0～21	22～42	43～56	57～63	0～63
		試験 1 区	雄	555	1,309	964
	雌	538	1,107	721	315	2,681
	平均	547	1,208	843	363	2,961
" 2 区	雄	545	1,314	1,000	418	3,277
	雌	538	1,115	770	330	2,753
	平均	542	1,215	885	374	3,016
" 3 区	雄	536	1,302	985	488	3,338
	雌	535	1,110	759	338	2,742
	平均	549	1,206	872	413	3,040
対 照 区	雄	563	1,288	952	407	3,210
	雌	548	1,120	698	309	2,675
	平均	556	1,204	825	358	2,943

3) 飼料摂取量 (第 4 表) 飼料摂取量は、増体量に比例していたが、各区分には有意差は認められなかった。

第 4 表 飼料摂取量 (単位:g)

区分	日 齢	0～21	22～42	43～56	57～63	0～63
試験 1 区		855	2,387	2,269	1,253	6,764
" 2 区		864	2,362	2,338	1,280	6,844
" 3 区		873	2,383	2,393	1,288	6,937
対 照 区		859	2,496	2,245	1,276	6,876

4) 飼料要求率 (第 5 表) 各区分に有意差は認められなかったが、給温期 (21日齢) 以降は試験区が次第に良くなり、57～63日齢では試験 3 区が最も良く、0～63日齢では対照区に比べ試験区が良い傾向にあった。

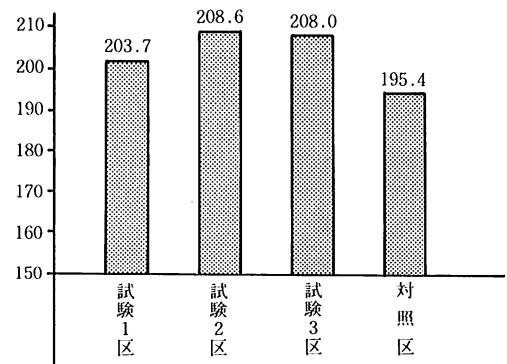
第 5 表 飼料要求率

区分	日 齢	0～21	22～42	43～56	57～63	0～63
試験 1 区		1.57	1.94	2.68	3.25	2.26(b)
" 2 区		1.60	1.95	2.64	3.43	2.27(b)
" 3 区		1.59	1.98	2.79	3.11	2.28(b)
対 照 区		1.59	2.08	2.77	3.61	2.34(a)

5) 解体成績 生体重に対する、と体、中抜および正肉 (もも、むね、ささみ) の雄および雌別の割合 (%) には各区分に有意差は認められなかった。

なお、脂肪についても各区分、雌雄間に有意差は認められなかったが若干雌の方が多い傾向にあった。

6) 経営指標 (※プロダクションスコア) (第 1 図) 各区分良好な成績であったが中でも低温温度で短期間給温の区が良い結果を得た。



第 1 図 プロダクションスコア

※プロダクションスコア

$$\left[(\text{平均体重}) \times (\text{育成率}) \right] \div \left[(\text{飼料要求率}) \times (\text{出荷日齢}) \right] \times 100$$